

地域協働による複合的観光客顧客満足度向上3ヵ年計画

取組に至る背景・事業の目的

観光地の活性化のため低迷する白樺湖の再生に向け、縦割りであった地主柏原財産区と白樺湖観光関係者が協力して21年に白樺湖景観美化推進委員会を結成した。各団体組織が断片的に行ってきた景観美化作業やその目的や成果を一元化し、効果的な成果を上げてゆくためにも組織の再形成は必須であった。

本委員会事業課題では、お客様の白樺湖滞在時間が短く、これを改善するための滞在メニューの開発の必要性が急務であると判断。本委員会で従来行ってきた湖畔遊歩道、ビューポイントを楽しんでいたため環境を楽しむ健康を増進するための「魅力ある観光地づくり3ヵ年計画」を策定した。初年度事業として地域住民や地元茅野市北部中学校の協力を得て間伐材を使った環境ベンチづくりと設置。次年度はランニングロードを有効活用していただくための仕組みづくりで看板や高地トレーニングの基地作り。3年目は環境イベントを計画している。

世代、既存組織を超え真の白樺湖再生に向けて、地主、地域住民、観光業者、地域の学校生徒がこの地を愛し、胸を張って明日に生きるために協働で汗を流す。

事業内容

1. 環境ベンチづくりと設置、環境美化作業

地元茅野市北部中学校総合的学習の時間の一環として白樺湖で開催し、25年に設定したビューポイントの伐採木の整理搬出。作業日8月22日、北部中学125名と地元住民23名が参加。班分けを行いベンチ作り班(10台)、環境美化作業班、記録班に分かれ作業を行った。これに先立ち7月10日北部中学で3年生の授業に参加し景観美化推進委員会企画室2名が講義を行い、本事業の意義や景観形成の重要性について意見交換を行った。ベンチの残り40台は10月22日設置を完了した。

2. 地域景観美化作業

- 7月2日 植栽、草刈 40名 白樺湖自治会
- 7月12日、13日 草刈 130名 柏原池の平土地改良区、柏原財産区
- 10月2日 草刈、雑木整備 34名 白樺湖自治会

3. ランニングロード活用のための総合的サイン計画会議

滞在メニュー開発促進のための会議4回。本委員会企画担当者、地元インタープリター、観光業者、行政関係者参加。ランニングロード誘導看板の内容検討や高地トレーニングの具体的広報や合宿誘致作戦会議。



【設置したベンチ】

事業効果

1. 白樺湖入り込み観光客数対前年100%。夏場の雨天連続で書き入れ時に数字を著しく落としたことが原因。(サンプル8件：宿泊業、ボート、遊園地)
2. インタープリター付きガイドツアー対前年134% (目標110%)
3. 白樺湖観光センターボートカヌー営業実績対前年98% (目標110%)。悪天候で夏場の稼働を著しく落とした。
4. 環境ベンチ設置により観光客のベンチ利用が顕著にみられた。週末の利用率定時調査(14時6回)65%。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

1. 設置場所に関わる現地調査に膨大な時間と手間がかかったこと。
 2. 北部中学校総合的学習の時間授業における日程調整、事前準備の繁雑さ。
 3. 構成3団体の意見利害調整 それぞれの思惑と熱意の差が大きい。これを打開してゆくことの困難さ。
- 今後
1. 3年計画のため3年目の具体的な環境イベントの内容検討中。FM長野エバーグリーンキャンペーンなどとのタイアップを検討している。
 2. 継続的な地元北部中学校との連携
 3. 高地トレのプログラム化を具現化し、市民や観光客が利用しやすい健康づくりの場所の提供を行いたい。

【選定のポイント】
景観形成や魅力ある観光地づくりに継続的に取り組むことで、更なる観光誘客の促進が期待される。

団体名 白樺湖景観美化推進委員会 (茅野市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 両角良久	事業費	2, 709, 000円
メールアドレス bigmoro@po21.lcv.ne.jp	支援金額	1, 819, 000円